

主な内容

- 2 面 健康づくりは幸せづくり
- 3 面 東京都知事選挙
- 4 面 いつ起きるか分からない大災害
日頃から災害への備えを

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

国難に全区民の温かい支援を

3月11日に発生した国内観測史上最大の巨大地震、東北地方太平洋沖地震により、震源地を中心に広範囲にわたって、多くの人命や家屋、財産が失われました。被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々には、深く哀悼の意を表します。

江戸川区では、被災者への義援金の受け付けや救援物資の輸送など、復興支援活動に全力で取り組んでいます。区民のみなさまには、今後ご協力をお願い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

江戸川区長 多田正見

区は被災地に人的・物資支援を実施!

3月13日、茨城県に災害支援物資として、非常食(クラッカー)、毛布、粉ミルクを提供しました。15日にも岩手県に、同様の災害支援物資を提供し、また、土木部職員7名を災害支援隊として派遣しました。今後も、被災地に必要な物資をいち早く提供するとともに、災害復旧に欠かすことのできない保健師や建築士、土木などの技術系職員の派遣も積極的に行っていきます。



東北地方太平洋沖地震被災者の方々に

義援金を受け付けています

東北地方太平洋沖地震で被災されたみなさまには、心からお見舞い申し上げます。

区では、今回の災害の被害救援にあてるため、区民の方々からの義援金を受け付けています。みなさまの温かいお気持ちをお待ちしています。 ☎ 総務係 ☎(5662)6194

■窓口での受け付け

総務課(区役所3階4番)、区民課(区役所南棟1階)、小松川・葛西・小岩・東部・鹿骨の各事務所、江戸川保健所、各健康サポートセンター、タワーホール船堀、総合文化センター、グリーンパレス(社会福祉協議会を含む)、各コミュニティ会館、各くすのきカルチャーセンター、各スポーツ施設、各図書館、各共育プラザ ほか

■郵便振替で送金

送金先(加入者名)⇒日本赤十字社 東北関東大震災義援金
口座番号⇒00140-8-507

区施設の一部利用休止や 区の催しの自粛にご協力を

区では、被災地の状況や電力の供給不足などを踏まえ、施設利用や区のイベントについて、以下のような対応を行っていきます。区民のみなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

- ◆区の主催・共催事業は、被災地の状況に配慮し、原則自粛します
※区が後援する事業についても、主催者に中止・延期のご理解を求める場合があります。
- ◆図書館、共育プラザ、スポーツ施設などの夜間利用は中止します
※総合体育館、スポーツセンター、スポーツランド、プールガーデン(西葛西テニスコート)、江戸川区球場、陸上競技場、臨海球技場第一、水辺のスポーツガーデン、テニスコート
- ◆学校開放およびスポーツ指定開放は、すべて中止します
- ◆小岩アーバンプラザ、小松川さくらホールのプールの利用を中止します(小岩アーバンプラザは夜間中止)
- ◆タワーホール船堀、総合文化センターなどの文化施設の夜間利用は、一部中止します
- ◆源心庵、甲和亭の夜間利用は中止します
- ◆公園・児童遊園の噴水やライトアップは中止します

今後、状況により対応が変わる場合があります。最新情報など詳しくは、各施設にご確認ください。

計画停電に伴う区施設の 一部利用休止などについて

東北地方太平洋沖地震による設備被害の影響で、東京電力では、3月14日より「計画停電」を実施しています。区内で計画停電が実施される場合には、区の業務の一部に支障が出ます。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

●届出の受理・証明書の交付など

停電が予定される時間帯およびその前後で、業務を休止します。

●ごみ・資源の収集

一部の地域で遅れる場合があります。

●文化・スポーツ施設、区民館、コミュニティ会館

停電が予定される時間帯のみ、利用を中止します。

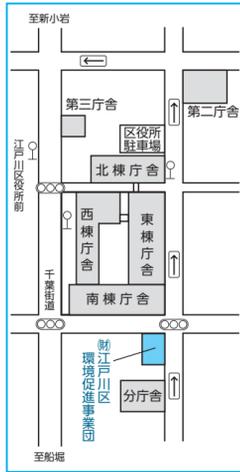
●源心庵、甲和亭、ポニーランド、自然動物園

終日、利用を中止(休園)します。

●葛西・船堀・平井・一之江(4月1日開設)機械式駐輪場
支障の出る時間帯に利用する場合、近隣駐輪場に案内します。

り災証明書

今回の地震によって住居が被害を受けた場合、現地調査を実施の上、「り災証明書」を発行します。詳しくは区民課、小松川・葛西・小岩・東部・鹿骨の各事務所庶務係へお問い合わせください。



区役所北棟庁舎にある(財)江戸川区環境促進事業団が、3月28日(月)から移転します。所在地 中央1-3-13 中里ビル(江戸川区役所前郵便局2階) 今後、公園ボランティアの登録や公園などの占用申請の受け付け、新中川以西、新大橋通り以北の公園の施設管理に関する相談などを行います。庶務課 ☎(5662)5541

江戸川区景観計画の運用を 4月1日(金)から開始します。区では、区民のみならずと協働して、水と緑を基盤とした、豊かなまちづくりを進めてきました。こうした、まちの魅力をもっと高めるため、平成20年から、多くの区民や関係団体などが検討・議論を重ね、「江戸川区景観計画」を策定しました。この計画は、「江戸川らしさ」を守り育て、笑顔あふれる心地よい環境づくりを目指す「まちを元気にする計画」です。地域のつながりを深め、区民が主体となった地域活動の更なる活性化を図るとともに、景観まちづくりのルールを設けて景観形成を行います。

投票に行こう！あなたと東京のために 東京都知事選挙

投票日 4月10日(日) 7時～20時

入場券(封書)の送付

- ▷ 3月24日(木)以降、世帯主あてに投票できる方、全員分の入場券を郵送します。投票所にはご自身の分をお持ちください。
- ▷ 「選挙の便利帳」を同封しますのでご利用ください。
- ▷ 入場券が届かない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録されていれば投票できます。投票所で係員に申し出てください。

選挙公報について

選挙公報は4月8日(金)頃までに各家庭に直接配付する予定です。※「声の広報」をお届けしている方には、「選挙公報」を全文音読したCDなどを4月8日頃までに郵送する予定です。



選挙人名簿の縦覧

新たに登録された方の選挙人名簿を縦覧できます。 ☎ 3月24日(木)8時30分～17時 選挙管理委員会(区役所西棟5階)

休日急病診療

- ◎ 診療時間⇒9時～17時(急病のみ受け付け。往診は不可)
- ◎ 外科は救急病院(「平成22・23年度くらしの便利帳」186ページ参照)をご利用ください。
- ◎ 当番医(変更になる場合もあります)、医療機関の案内は下記のとおりです。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ▷ 江戸川区医師会テレホンセンター＝日曜・祝休日9時～17時 ☎(3651)5270/FAX(3654)4902
- ▷ 東京消防庁救急相談センター＝24時間・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇒☎#7119・ダイヤル回線⇒☎(3212)2323
- ▷ 東京都保健医療情報センター「ひまわり」＝24時間 ☎(5272)0303/FAX(5285)8080

江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

- ◎ 診療科目⇒小児科・内科
- ◎ 診療時間⇒①日曜・祝休日9時～17時/②毎日21時～翌朝6時
- ◎ 問い合わせ⇒☎(3655)5151/☎(3651)5270

休日急病当番医

- 3月21日 内小 ながぞのクリニック 一之江7-49-5 ☎(5661)9855 田島クリニック 西葛西6-13-7 ☎(3687)1161 大木クリニック 西小岩1-28-18 ☎(5693)0600 佐藤医院 東小岩5-20-12 ☎(3657)1414 内 英診療所 中央3-20-10 ☎(5661)5888 眼 安田医院 瑞江1-43-12 ☎(5666)7038 耳鼻 耳鼻咽喉科 篠崎町7-27-23 ☎(3676)4133 増田医院
- 3月27日 内小 むらかみクリニック 一之江7-38-8 ☎(5678)7377 宮澤クリニック 西葛西6-18-3 ☎(3878)0826 養命閣医院 南小岩6-18-5 ☎(3673)5333 田中医院 平井6-30-1 ☎(3612)3352 内 菊地外科胃腸科 鹿骨3-18-7 ☎(3679)9799 眼 西葛西井上眼科病院 西葛西5-4-9 ☎(5605)2100 耳鼻 しのざき耳鼻咽喉科クリニック 篠崎町2-407-2 ☎(5243)8177

休日歯科応急診療

- 3月21日・27日 ◎ 診療時間⇒9時～17時 ◎ 電話またはファクシミリで予約のうえ、16時30分までにお越しください。休日専用＝☎・FAX(3672)8215

休日応急当番接(整)骨院

- ◎ 施術時間⇒9時～17時
- 3月21日 南小岩8丁目ライト接骨院 南小岩8-17-7 ☎(5694)0078 けんご整骨院 西瑞江3-17-14 ☎(5666)3447
- 3月27日 ひらい小松川整骨院 小松川3-75 ☎(5858)3636 佐藤接骨院 江戸川6-32-5 ☎(5676)8110

女性特有のがん検診(子宮(頸)がん) 3月31日(木)で無料クーポン券の有効期間が切れます。期間内にぜひ受診しましょう。☎健康推進課推進係☎(5661)2462

健康づくりは幸せづくり

～病気を予防するために決められた時期に「予防接種」を受けましょう～

任意予防接種(区の助成あり)

予防接種名	対象年齢 ⇨ 接種回数	費用
子宮頸がん	中学1年生の女子⇨3回	全額助成
	20歳の女性⇨3回	一部助成 自己負担額 1回8,000円
Hib (インフルエンザ菌b型)	接種開始が生後2か月～7か月未満 ⇨4回(3回接種後、1年後に1回追加接種)	一部助成 自己負担額 1回4,000円
	接種開始が生後7か月～1歳未満 ⇨3回(2回接種後、1年後に1回追加接種)	
小児用肺炎球菌	接種開始が生後2か月～7か月未満 ⇨4回(3回目接種後60日以上後に1回追加接種)	一部助成 自己負担額 1回5,000円
	接種開始が生後7か月～1歳未満 ⇨3回(2回目接種後60日以上後に1回追加接種)	
	接種開始が1歳以上～2歳未満⇨2回(60日以上の間隔で)	
MR (麻しん・風しん) ※24年度まで	接種開始が2歳以上～5歳未満⇨1回	全額助成
	18歳未満で1度も麻しん予防接種を受けていない方で法定接種の対象とならない方	
肺炎球菌 (65歳以上)	①平成18年4月2日以降生まれの2歳以上でMRI期未接種の方	一部助成 自己負担額 1回4,000円 (助成は1回限り)
	②小学生 ③中学2年～高校2年生	

子宮頸がんワクチンの供給量不足による区の対応について

区では、子宮頸がんワクチン接種に関して、22年7月から中学生女子への全額助成と20歳女性への一部助成を行ってきました。しかし、ワクチンの供給量不足が明らかになり全国的に問題となっています。区は、2回目以降の接種をお待ちの方を優先させ、その後、全ての方に接種できるよう検討しています。

Hibワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン接種事業の一時的見合わせについて

区では、22年4月からHibワクチン接種の助成を開始し、23年4月からは小児用肺炎球菌ワクチン接種の助成を開始する予定でした。しかし、3月2日以降、ワクチン同時接種後の死亡例が報告されたため、両ワクチンの接種を一時的に見合わせています。このため接種票の発行は控えています。(接種の再開については今後の広報えどがわなどでお知らせします)

～健康チェックのために「健診」を受けましょう～

40歳未満の方の区民健診

対象	実施時期	検査内容	実施会場
40歳未満(昭和47年4月1日以降の生まれ)で、勤務先や学校などで健診を受診する機会のない方	6月	血圧測定・血液検査・尿検査 ほか	各区民施設

※受診方法など詳しくは今後の広報えどがわでお知らせします。 ☎健康推進課推進係☎(5661)2462

長寿健診

対象	実施時期	検査内容	実施会場
75歳以上(昭和11年7月31日以前の生まれ)の方および、65歳以上で後期高齢者医療制度に加入している方	8月～10月	血圧測定・血液検査・尿検査・生活機能評価 ほか	区内指定医療機関

※7月末に受診券を送付します。詳しくは、同封の案内をご覧ください。 ☎健康推進課推進係☎(5661)2462

40歳～75歳未満の方の特定健診・特定保健指導

【国民健康保険に加入している方(国保健診)】 検査内容は、腹囲測定・血圧測定・血液検査・尿検査などです。

- ◆40歳～64歳の方(昭和22年4月1日～47年3月31日に生まれた方) 実施会場 江戸川区医師会医療検査センター(予約制) 実施時期 誕生月を含む4か月(下表のとおり)
- ◆65歳～75歳未満の方(昭和11年8月1日～22年3月31日に生まれた方) 実施会場 区内指定医療機関 実施時期 8月～10月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4・5・6・7月生まれ			8・9・10・11月生まれ			12・1・2・3月生まれ					

※各実施時期の前月(3・7・11月)に受診券を送付します。詳しくは、同封の案内をご覧ください。

※7月末に受診券を送付します。詳しくは、同封の案内をご覧ください。 ☎医療保険課保健事業係☎(5662)0623

【国民健康保険以外の保険に加入している方】

ご加入の医療保険者(健康保険証の発行機関)にご確認ください。 予約電話☎(5676)8818＝月～土曜8時45分～17時 陽タワーホール船堀6階

国保健診(40歳～64歳)は江戸川区医師会医療検査センターへ

凡例 日時(日程) 時間 場所 内容 定員(対象) 費用 講師 出演 持ち物 主催 共催 後援 協力 申し込み 問い合わせ ホームページ



震災に便乗した 悪質な勧誘などに注意!

不審な点がある場合はご相談ください。 消費者センター ☎(5662)7637

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

いつ起きるか分からない大災害 日頃から災害への備えを

今回の東北地方太平洋沖地震は、私たちの住む東京にも甚大な被害をもたらした一方で、様々な課題も残しました。

区は、災害に強いまちづくりや物資の備蓄に努めるとともに、各防災関係機関との連携を強化して災害時に備えています。災害による被害を最小限に抑えるためには、みなさん一人ひとりの防災に対する意識や行動が不可欠です。「自分の身は自分で守る」「互いに助け合い自分たちのまちを守る」という意識を強く持ち、日頃から災害に備えましょう。

☎ 災害対策課 ☎(5662)1992



自助 家庭での対策

●家族会議を行う

災害発生時の家族内の役割分担や、避難場所・家族が集まる場所、家族間の連絡方法などを確認しておきましょう。

●自宅内の安全点検

タンスや食器棚を、突っ張り棒やL字金具などで固定するとともに、窓などのガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。

●水や食料の備蓄

水は一人1日3リットルを目安に3日分を、食料は乾パンや缶詰など火を通さずに食べられるものを備蓄しましょう。

●非常持ち出し品の準備

- 食料品…飲料水・缶詰・インスタント食品・粉ミルクなど
- 衣類…着替え・軍手・帽子・毛布・おむつ・タオルなど
- 救急用品…消毒薬・傷薬・脱脂綿・マスク・包帯・ばんそうこう・常備薬・衛生用品など
- その他…現金(特に小銭)・預金通帳・保険証・印鑑・ラジオ・懐中電灯・ライター・ビニール袋など



共助 地域での対策

●地域内での協力・連携体制の強化

地域で実施している防災訓練などに参加して、防災に関する知識や技術を習得しましょう。また、そうした機会を通して地域内のコミュニケーションを深めておきましょう。



●地域の防災点検の実施

まちなかの消火器や公園・広場の場所、危険な老朽ブロック塀や避難の妨げとなる違法駐車・迷惑駐輪の多い通りなど、家族内で情報を共有し、防災マップを作成しておきましょう。

●災害時要援護者への配慮

体の不自由な方や熟年者・乳幼児など、一人では消火や避難の困難な方がいます。普段から災害時に支援が必要な人がどこにいるのかを把握し、地域ぐるみで助け合える体制をつくりましょう。



公助 みなさんの生活を守る区の対策

●防災行政無線、エリアメール

災害時の情報をいち早く正確に伝えるため、区内256か所に防災行政無線を設置しています。また、NTTdocomo(携帯電話)のエリアメールでも災害時の避難情報などを配信します。

●消火器の配備

火災時の初期消火用として、区内全域のおよそ50~100mおきに約5,700本の消火器を配備しています。

●マンホール対応型トイレの配備

トイレが使えなくなった場合に備え、避難所となる小・中学校や区民施設にマンホール対応型トイレを配備しています。

●飲料水・物資の備蓄

全区民の約14日分の飲料水を確保しています。また、食料や生活物資も計画的に備蓄しています。

住まいの耐震化に向けて~助成制度のご利用を~

大地震による被害を抑え、家族の生命やまちを守るためには、建築物の耐震性を高めることが大切です。区では、昭和56年5月31日以前の耐震基準で建てられた戸建て住宅や分譲マンションなどを対象に、耐震性を高めるための助成制度を設けています。制度の利用方法や内容など、詳しくはお問い合わせください。



☎ 住宅課計画係 ☎(5662)6387

区では、これらのほかにも区民のみなさんが安心して暮らせるよう、安全で災害に強いまちづくり(土地区画整理事業や都市計画道路などの都市基盤整備)を進めています。また、災害時に迅速な応急活動が行えるよう、医療救護や食料の供給など様々な団体と協力協定を結んでいます。